

平成25年度事業報告書

学校法人 湘南ふれあい学園

1. 法人の概要

①建学の精神

「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」の精神を理念とし、教育分野において社会に奉仕することを使命としています。

②学校法人の沿革

平成 6年	1月 4月	準学校法人湘南ふれあい学園設置 茅ヶ崎看護福祉専門学校創立
平成10年	4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校創立
平成12年	4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校社会福祉専攻科設置
平成13年	1月	学校法人横浜アカデミーより2幼稚園、2専門学校、1予備校を継承し、学校法人へ変更
平成14年	4月	専門学校横浜外語 ビジネスアカデミー日本語研修科設置
平成16年	4月	下田看護専門学校 創立 専門学校横浜外語 ビジネスアカデミー美容学科・診療情報管理学科・臨床工学学科設置
平成17年	4月	専門学校横浜外語ビジネスアカデミーをふれあい横浜専門学校に校名変更
平成18年	4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 社会福祉学科を精神社会福祉学科へ名称変更 ふれあい横浜専門学校 美容学科入学定員変更 総合電子専門学校 学科再編(設置及び変更)
平成20年	4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 理学療法学科入学定員変更
平成21年	4月	総合電子専門学校 学科再編(名称変更等)
平成22年	4月	茅ヶ崎看護福祉専門学校を茅ヶ崎看護専門学校に校名変更及び看護学科入学定員を変更
平成23年	4月	ふれあい横浜専門学校 観光学科入学定員変更 総合電子専門学校 研究科設置
平成24年	4月 6月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 言語聴覚学科(2年制)設置、作業療法学科入学定員変更 総合電子専門学校 医療マネジメント科設置、情報デザイン科入学定員変更 湘南医療大学(仮称) 大学設立準備室設置
平成26年	3月 4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 南湖校舎移転 湘南医療大学(仮称) 設置認可申請書提出 学校法人湘南ふれあい学園本部事務所移転 総合電子専門学校を医療ビジネス観光情報専門学校に校名変更及び学科構成を変更

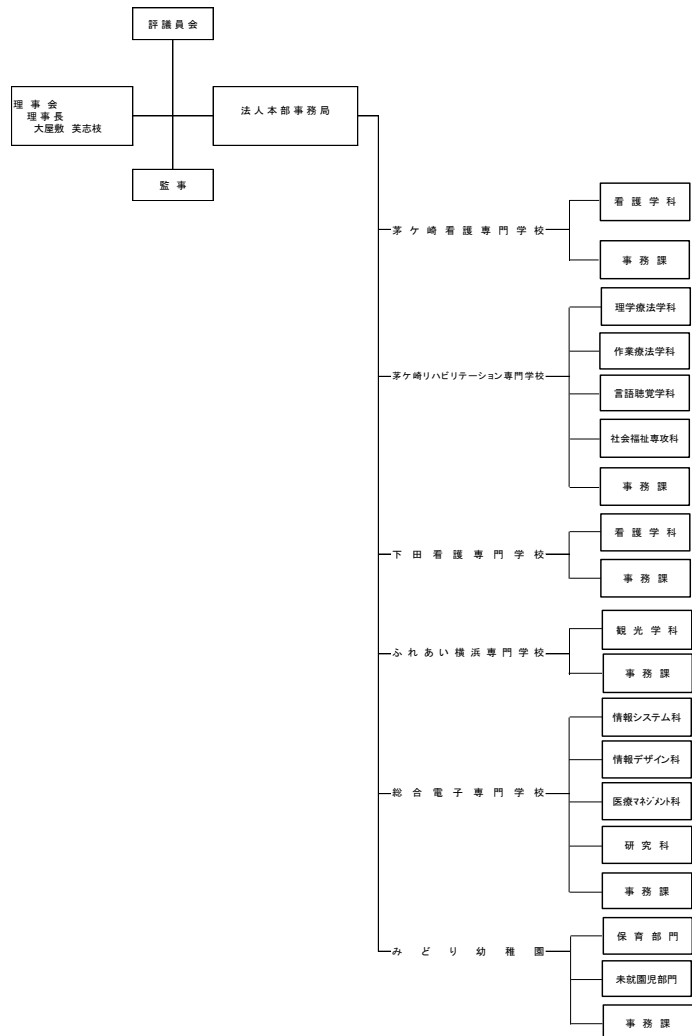
③設置する学校・学科及び当該学校の入学定員と現員数（平成25年5月1日現在）

フリガナ 学校名 (所在地)	学部・学科 等名	開 設 年 度	入 学 定 員	収 容 定 員	現 員	備 考
ミドリヨウチエン みどり幼稚園 (横浜市)		昭和24年	人	人 200	人 186	
チカサキカンゴセンモンガクコウ 茅ヶ崎看護専門学校 (茅ヶ崎市)	看護学科	平成6年	80	240	242	
チカサキリハビリテーションセンモンガクコウ 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 (茅ヶ崎市)	理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科	平成10年 平成10年 平成24年	80 20 35	320 80 70	289 79 66	
シモダカンゴセンモンガクコウ 下田看護専門学校 (下田市)	看護学科	平成16年	40	120	124	
フルアイヨコハマセンモンガクコウ ふれあい横浜専門学校 (横浜市)	観光学科	平成16年	60	120	62	
リウゴウデンジセンモンガクコウ 総合電子専門学校 (相模原市)	医療マネジメント科 情報システム科 情報デザイン科 研究科	平成24年 平成21年 平成21年 平成23年	20 40 20 20	40 80 40 20	22 69 18 0	

④役員及び評議員

理 事	6 名
監 事	2 名
評議員	1 3 名

⑥学校法人組織機構図（平成26年3月31日）



⑤理事会、評議員会の開催状況

理事会	1 3 回
評議員会	9 回

2. 事業の概要

平成25年度学校法人湘南ふれあい学園事業計画に基づき、主に取り組んだ事業の概要は次の通りです。平成25年度は湘南ふれあい学園の将来構想の具現化に向けて前進する年度となりました。

(1) 主な事業報告

①. 湘南医療大学(仮称)設置申請書の提出

本学園は、「21世紀の超高齢社会において地域に必要とされる医療人材の育成と質の向上」という使命を掲げ、理念に基づき、「高度な専門医療」、「チーム医療」、「地域医療」等の時代のニーズを見据えて、平成23年6月から大学設立準備委員会(開催回数62回)等にて、教学内容、教員編成、施設設備、経営方針及び地域貢献等の協議を重ねた結果、看護師、保健師、理学療法士及び作業療法士を養成する「湘南医療大学(仮称)保健医療学部」の設置計画を策定し平成25年3月25日に設置申請書を文部科学省に提出し、受理されました。

②. 学校法人寄附行為変更認可申請書の提出

湘南医療大学(仮称)の設置に伴い、学校法人寄附行為の変更を文部科学省に平成26年3月25日に提出しました。今後、大学法人への移行に際し、様々な課題を円滑かつ迅速に対処し、適切に対応できる組織体制を整えることを目的として変更しました。また、教育研究環境の整備費及び教育研究活動のための経常経費を確保することを目的として、寄附金募集事業を平成24年度から開始し、企業及び個人から広く集めることができました。

③. 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校を南湖校舎へ移転

茅ヶ崎リハビリテーション専門学校は、現在より広い校舎の確保を目的とし、移転先の南湖校舎の校地校舎の改築を終えて、本館及び別館を竣工しました。本館は、講堂、多目的教室、教員室事務室、図書室、理学療法学科・作業療法学科の教室及び実習室で構成されている。また、別館には、言語聴覚学科の教室及び実習室を主として、1階には、375.49㎡の多目的スペースを確保して、学生の自習や休憩する教育環境を整備しました。

④. ふれあい横浜専門学校の閉校及び医療ビジネス観光情報専門学校の開校準備

横浜専門学校が平成26年3月31日に閉校いたしました。「ふれあい横浜専門学校」の機能を「総合電子専門学校」が受け継いで統合し、「医療ビジネス観光情報専門学校」に名称を変更しました。また、学科構成を「医療ビジネス科、ホテル・ブライダル科、観光・情報ビジネス科、ゲーム・モバイル科」の4学科に改組し、新体制への準備を行いました。

⑤. 社会的責任を果たす経営体制の強化

監事と会計監査人が連携し、会計と業務の監査機能の強化を図りました。特に、平成25年度は、毎年度各学校を対象として実施している学園内部の会計・業務監査を受け、図書の蔵書点検及び在庫管理を徹底的に行い、平成26年度から各校の図書館運営の質的向上を図りました。今後は、更に学校法人の経営の透明性を高めて、経営体制の維持、強化に努力します。

⑥. 健全な財政基盤の堅持

平成25年度は、ふれあい横浜専門学校の閉校及び茅ヶ崎リハビリテーション専門学校の移転に伴い、2校の旧校地校舎を平成26年3月に売却しました。売却して得た収入は、大学設立に要する費用と、将来にわたり安定的に専門学校及び大学教育の充実を図るための資金に充当し、余力のある健全な財政基盤のために努力します。

⑦. 募集・広報活動

月1回の専門学校の募集担当者による広報会議を開催し、各校の弱点や課題を解決するために話し合う機会も設けました。そして、湘南ふれあい学園全体で学生募集活動を実践し、地域の高校及び保護者からの信頼を得る学校(園)として、ふれあいグループに生徒・園児を送れば安心であるとの評価の定着を図るように努力しました。自宅通学圏内の学校への進学志向が強まっていることから、自宅通学圏を重要地域と捉え、学校説明会の内容を充実させて、ガイダンスへの積極的な参加により、募集活動を展開しました。

⑧. 学生支援の充実

専門学校では、資格の取得を重点的に教育し、日頃から対策や指導方法を講じて個々の学生に対する修学支援に取り組みました。更に医療系学生のグループ奨学金制度の充実により経済的な修学支援体制の充実に努めました。また、インターシップを活性化させて、キャリア教育の充実に努めました。また、平成26年度から茅ヶ崎看護専門学校においても学生寮の運営を開始する予定である。

⑨. 教育部会活動・・・平成25年度年間テーマ：「学校力」を高める

学園各校が選ばれる学校を目指し、教職員の資質向上を目的とした研修プログラムを実施した。特に「学習支援」や「退学防止」など教員力を向上させるとともに、授業運営・授業評価などこれからの学校運営に求められる教職員の力量をアップさせ、地域社会や受験生から信頼される「学校力」の向上を目指し、教職員一人ひとりが力をつけることのできる研修会とした。

平成25年度のプログラム

月 日	第一部 内容	第二部 内容
4月13日	学園全体での研修会 ・本年度の研修目的と内容 ・本年度事業計画	職域・研修項目別に内容確認 ・本年度の調査研究班（13班）にて、研究方法の打ち合わせと今後の進め方を検討する。
5月18日	同 上	同 上
6月15日	拡大研修会	
7月13日	・学生募集と広報活動	職域別研修 教 員・・・ 授業評価と成績評価 事 務・・・ 文書管理とファイリング
8月17日	同 上	同 上
9月14日	・カウンセリング技術の向上	職域別研修 教 員・・・ シラバスと授業デザイン 事 務・・・ ビジネスマナー
10月19日	同 上	同 上
11月16日	・学校のPDC	職域別研修 教 員・・・ 授業形式とグループワーク 事 務・・・ クレーム対応
12月22日	医療研究会	
1月18日	同 上	同 上
2月15日	・リスクマネジメント	職域別研修 教 員・・・ 学生対応マナー 事 務・・・ 職員の学生支援
3月15日	同 上	同 上

平成25年度 第10回 医療研究会プログラム(演題)

- 基礎学力を備えた学生確保に向けた入学試験のあり方（茅ヶ崎看護専門学校）
- 入試種類及び入学前学業成績と入学後学業成績との相関に関する調査研究（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
- 授業評価の方法と課題に関する調査研究（下田看護専門学校）
- 従来型の臨床実習とCCSの比較（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
- 確認テストの効果的な活用方法（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
- 個別学習とグループワークスタイルの違いによる学習効果の比較（ふれあい横浜専門学校）
- 学生生活満足度調査からの考察（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
- 出願率を高める工夫について（総合電子専門学校）
- 選ばれる学校となるための広報活動とは（下田看護専門学校）
- ふれあい学園としてのクレーム対応策（みどり幼稚園）
- 休退学防止の取り組みとその効果について（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
- 看護師国家試験対策における取り組みの実態調査（茅ヶ崎看護専門学校）
- 現代学生の悩みとカウンセリング（学園本部）

⑩. 平成25年度生涯学習事業

講座名	介護職員初任者研修	喀痰吸引等研修	医療事務通信講座	社会福祉士専攻科 (通信教育)
機 関	雇用・能力開発機構神奈川センター	神奈川県保健福祉局	湘南ふれあい学園	厚生労働省
開催回数	年2回	年2回	年1回	年1回
受 講 定 員	①30名 ②16名	30名	30名	80名
修業期間	学科133時間 実技113時間 職場体験30時間	講義7日 演習1日 実地研修1日 計9日	初級コース6ヶ月	1年9か月
開講期間	①H25.08.19-11.18 ②H26.01.14-04.11	①H25.03.19-H25.05月末迄 ②H25.09.17-H25.11月末迄	①H25.10.01-H26.3.31	①毎年4月～翌年12月末日迄
取得資格	介護職員初任者研修修了証	喀痰吸引等研修修了認定証	ふれあい医療事務管理士(初級)	社会福祉士国家試験受験資格

⑪. 環境への対応

湘南ふれあい学園全体で「整理、整頓、清掃、清潔、しつけ、作法」の6Sにもとづく活動を実践することにより、職員のモラルの向上に努めて、学生その他学校関係者へのサービス活動につなげる努力を行いました。

⑫. 防災対策の整備

平成25年度は、災害対策マニュアルの整備の見直しと毎年実施している避難・防災訓練の取り組み強化、備蓄品の点検など学生の安全を第一に考えて防災対策に取り組みました。

⑬. 地域貢献

平成25年度は、茅ヶ崎看護専門学校及び茅ヶ崎リハビリテーション専門学校において、茅ヶ崎市と「津波発生時の一時退避場所に係る協定書」を締結しました。大津波が到達又は到達されると予測された場合に、当該校が茅ヶ崎市民の一時退避場所として協力することになり、今後も地域貢献活動を活発にしていく予定です。

(2) 各学校における事業 (要旨)

茅ヶ崎看護専門学校

平成25年度は、国家試験合格率90.6%(全国平均89%)という結果であった。また、休・退・留年者を出さない魅力ある授業の提供、教職員のあたたかい支援による学校運営を目指した結果として、留年者の進路変更及び卒業、休学者の復学を図り、留年・休学者を減少させました。そして、就職指導を徹底させ、キャリア教育を実践した結果、卒業生の希望する病院にほぼ全員が就職することが出来ました。次年度は国家試験対策を更に強化し、100%合格を目指します。

茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

平成25年度は言語聴覚学科の完成年度、南湖校舎への移転の年として新校舎でさらなる飛躍をするための助走期間として学校運営を行った。また、学生募集活動は順調に経過し、前年度を上回る出願者を集めて学生を確保することができた。しかし、国家試験合格率は理学療法学科、作業療法学科ともに全国平均を下回る結果であり、今後の対策が急務となった。就職については、就職希望者全員がグループ病院施設をはじめとして県内外の病院施設に就職することができた。

下田看護専門学校

自己評価・点検において、教育内容の充実・改善・指導指針の目標が達成することができた。また、教員間で共通認識を持ち、グループ指導・個別指導を実行した結果、学業の不振による退学者も少なくてできた。国家試験合格率は、94.7%となり、ふれあいグループの各施設へ卒業生を多数送り出すことができた。今後は、AO、推薦で多数の新卒学生の入学、及びやる気のある社会人を確保して、クラスへの刺激としても活用したいと考えている。

ふれあい横浜専門学校

ふれあい横浜専門学校としての最後の年となったが、退学率は1.6%(退学者1名)となり24年度の12.6%に比べ格段に向上した。就職も希望者全員の内定獲得という目標を達成し2年連続で就職率100%となった。医療ビジネス観光情報専門学校でも、国家資格等取得に向けた徹底した指導と就職対策指導を実践して、更に内容を充実させていきたい。

総合電子専門学校

総合電子専門学校として最終年度の入学者は49名に留まり、定員を確保できなかった。就職率は77.6%で、24年度の66.7%から10.9ポイント上昇した。全学科の就職率が向上したが、医療マネジメント科の100%であった。また、学生指導・管理体制の徹底により退学者は1名で0.92%(24年度2.8%)となり、目標とした5%未満を大きくクリアした。

みどり幼稚園

4つの教育目標の中の一つ「丈夫な体を持つ子に」に力を入れ、達成感が得られる活動を多く取り入れ、成果をあげることが出来た。また園児達と関わりながら、地域の方や未就園児の保護者様に親子で参加できる行事や交流会を多く計画して、みどり幼稚園を理解していただくように努力し、園児数を確保することができた。また子育て支援の預かり保育利用者も年々増加し、充実している。今後は子ども子育て新制度に向けて、教職員で取り組んでいきたい。

3. 財務状況

貸借対照表

平成26年3月31日

(単位:千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,201,941	4,269,875	67933808
有形固定資産	4,200,127	4,258,500	△ 58,372
土地	1,324,879	2,372,103	△ 1,047,223
建物	1,823,208	1,699,391	123,817
その他の有形固定資産	1,052,040	187,006	865,034
その他の固定資産	1,814	11,375	△ 9,562
流動資産	6,133,264	1,606,500	4,526,764
現金預金	5,739,567	754,869	4,984,698
その他の流動資産	393,698	851,631	△ 457,933
資産の部合計	10,335,206	5,876,375	4,458,831

(単位:千円)

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,790,538	1,304,881	485,657
その他の固定負債	1,790,538	1,304,881	485,657
流動負債	833,371	798,034	35,337
その他の流動負債	833,371	798,034	35,337
負債の部合計	2,623,909	2,102,915	520,995
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	4,334,893	4,758,527	△423,634
基本金の部合計	4,334,893	4,758,527	△423,634
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	0	985,066	△985,066
翌年度繰越消費収入超過額	3,376,403	0	3,376,403
消費収支差額の部合計	3,376,403	△985,066	4,361,469
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	10,335,206	5,876,375	4,458,831

資金収支計算書

平成25年4月 1日から
平成26年 3月31日まで

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,088,351	1,084,433	3,918
手数料収入	84,197	83,237	960
寄付金収入	3,801,010	3,801,542	△532
補助金収入	443,771	445,074	△1,303
資産運用収入	23,325	25,166	△1,841
資産売却収入	1,408,365	1,434,333	△25,968
事業収入	100,480	105,692	△5,212
雑収入	7,665	11,038	△3,373
借入金等収入	422,000	422,000	0
前受金収入	579,595	581,146	△1,551
その他の収入	746,297	717,775	28,522
資金収入調整勘定	△630,436	△625,754	△4,682
前年度繰越支払資金	754,869	754,869	0
収入の部合計	8,829,488	8,840,550	△11,062

(単位:千円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	713,868	712,782	1,086
教育研究経費支出	249,965	238,604	11,361
管理経費支出	313,567	304,547	9,020
借入金等利息支出	47,500	47,354	146
借入金等返済支出	250,071	250,071	0
施設関係支出	1,576,468	1,571,147	5,320
設備関係支出	37,395	21,173	16,222
その他の支出	81,036	80,056	980
予備費	(16,600)		33,400
	33,400	0	
資金支出調整勘定	△61,066	△124,752	63,686
次年度繰越支払資金	5,587,286	5,739,567	△152,281
支出の部合計	8,829,488	8,840,550	△11,062

消費収支計算書

平成25年4月 1日から
平成26年 3月31日まで

(単位:千円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,088,351	1,084,433	3,918
手数料	84,197	83,237	960
寄付金	3,801,306	3,804,404	△3,098
補助金	443,771	445,074	△1,303
資産運用収入	23,325	25,166	△1,841
資産売却差額	31,290	103,698	△72,408
事業収入	100,480	105,692	△5,212
雑収入	7,665	11,038	△3,373
帰属収入合計	5,580,385	5,662,741	△82,356
基本金組入額合計	△1,422,160	△2,420,889	998,729
消費収入の部合計	6,899,108	6,086,375	812,733

(単位:千円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	721,980	717,211	4,769
教育研究経費	326,965	314,639	12,326
管理経費	335,103	323,085	12,018
借入金等利息	47,500	47,354	146
資産処分差額	323,000	322,615	385
予備費	50,000		50,000
消費支出の部合計	1,804,548	1,724,905	79,643
当年度消費収入超過額	5,094,560	4,361,469	
前年度繰越消費支出超過額	1,196,350	985,066	
翌年度繰越消費収入超過額	3,898,210	3,376,403	

財産目録

平成26年 3月 31日

(単位:千円)

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	4,200,127
土地	1,324,879
建物	1,823,207
構築物	9,794
教具・工具・備品	60,412
その他の基本財産	981,835
2 運用財産	6,135,078
現金預金	5,739,566
その他の運用財産	395,512
3 収益事業財産	97,088
資産総額	10,432,294
負債額	
1 固定負債	1,790,538
2 流動負債	833,371
3 収益事業負債	365,214
負債総額	2,989,123
正味資産	7,443,170

監 査 報 告 書

平成 26 年 5 月 20 日

学校法人 湘南ふれあい学園
理事会 御中

学校法人 湘南ふれあい学園

監事 金井 清吉

監事 竹俣 耕一



私たちは、学校法人湘南ふれあい学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人湘南ふれあい学園寄附行為第 8 条第 2 項に基づいて同学園の平成 25 年度(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び損益計算書)を含め、学校法人湘南ふれあい学園の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決算書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手段を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以 上